



## 国際編集長から

私はワイズメンズワールド編集者という役割を、楽しくやらせていただいております。それは、沢山の素晴らしい方々との触れ合いがあるからです。送っていただく文章も写真も素晴らしいものです。でも、それを全部が全部読者の皆さんにお届けできるわけではありません。なぜならば、頂く情報が必ずしも掲載できるフォーマットになっていないからです。そこで、今日は JPEG のおはなしを致しましょう



デジタル写真は素晴らしいものですが、問題もあります。イメールするためにイメージのサイズを縮小しないで下さい。そうされると、印刷の質が落ちてしまいます。だから縮小しない、元のままのサイズで送って下さい。フィルムのカメラでとられた場合は、300dpi のスキャンされた画像が必要です。写真をワード文章に取り込まないで下さい。

使用できる画像を取り出すことができないからです。写真のポジをメールではなく、別便で送って下さい。

最後に、写真の内容が重要です。沢山の人がカメラの方を向いているものより、二、三人の人でも、何かを実際に行っている写真の方がはるかに関心呼びます。ワイズメン運動であることを示すロゴが写真の中に入っているようにして下さい。ピントのぼやけた写真は使用できません。

ワイズメンズワールド国際編集長  
アラン・ウォリントン

*Yours in Y'sdom  
Wally*

ワイズメンズワールド 2007/08 第1号  
国際編集長：Alan Wallington, Bristol, England

日本版翻訳者：

倉田正昭（京都）、谷川 寛（大阪センテニアル）

谷本秀康（東広島）、長尾ひろみ（宝塚）

橋本和子（神戸）、山川一郎（長）（姫路グローバル）

日本担当編集長：（記載希望記事をお送り下さい）

山川一郎（姫路グローバル）

〒670-0831 姫路市城見町 168 079-288-7777

e-mail : yamaqua@vesta.ocn.ne.jp

（注）お送りくださる記事は、日本語で結構です。

アクションの写真を是非添えてお送り下さい。

## ゴールデンブック物語

Haderselve ワイズメンズクラブ  
ハンス・ケルケゴール

エンダウメント・ファンドは、1958年、拠金による基金の創成および金利によってワイズメン組織の運営費の支援を目的として設立されたものです。その初期においては、この基金は苦闘を強いられ、1970年までに積み立てられた基金は5,000米ドルにしか過ぎませんでした。分析の結果、この原因は、基金が会員に十分理解されていなかったためとわかりました。そこで基金発展のため、「ゴールデン・ブック」が導入されました。それは、傑出したワイズメンを賛辞、追悼および献金によって記念するために導入されました。

1973年、ワイズメンズクラブ国際協会は、米国からジュネーヴァに移り、それに伴い、イリノイ州オーク・ブルックにあった旧国際本部が売却され、それによって得られた285,000米ドルがこの基金に移されました。1980年には、クラブが特定の会員の名誉のために100ドルを寄付するという制度が導入されました。1981年、基金は法的な信託となり、ワイズメンズクラブ国際協会とは別個の管理者 (trustee) が運営しています。基金管理者は、1997年のワイズ創立75周年までに百万米ドルとするという目標を立て、この目標は1996年に採択されました。

（以上ワイズメン75年史より抜粋）

今日、この基金の目標は、「世界中にワイズメンズクラブ国際協会に加盟するクラブを設立し、発展させること」および「特別な問題を解決するため、および地域や区においてワイズダムを強化し、創立し、発展させるための特別なプロジェクトを実行するため」となっています。エンダウメント・ファンド額は、現在250万スイスフラン（2百万米ドル）であり、多くのクラブは、会員を記念するためにゴールデン・ブックを活用しています。

## 明るい展望と交流

国際会長 ラッセ・ベアグステット



“良きにつけ悪きにつけ会話は貴方を伝えます口を開けば貴方の心を人に見せます”

ブルース パートン

親愛なるワイズの皆様

新しい年度を迎えました。これをお読みになる時、クラブは新しい歩みを始め、取り組みへの良い準備が出来ているようにと願っています。常にスタートにおいて備えが出来ていなければなりません。この年度、新しい考えや創造的な取り組みが聞けるように願っています。

国境なき奉仕

ASF、BF、TOF そして EF のような国際プロジェクトについて考えています。始める事が大切で新しいクラブをつくること、また貴方自身のクラブの強化に取り組む事は大切です。どの人も仲間に受け入れられていると感じる事が必要です。

より良い世界を築くための努力は私達を結び合わします。国際会長の喜びの一つは、多くのワイズメンとの出会いです。



南太平洋地域大会において就任式に臨むラッセ・ベアグステッド国際会長（左）とチェハン・キー前国際会長

7月1日から世界を訪ねました。35日間の旅でした。先ずアメリカ地区大会出席のため南カロライナ州チャールストンに向かいました。暖かく美しいそして歴史の豊かな都市でした。AP Fred Leonard の出迎えを受け地区協議会に出席しました。明るい展望と暖かい交わりに満ちた集まりでした。彼らは困難より将来への可能性を見つけようとしていました。150人の参加者があり、皆同じ思いに満たされているようでした。将来に向けての計画が成功するよう祈っています。彼らと話し合った事は大きな喜びでした。

その後カナダに向かい Falifax では、ISD LTOD ケビン カミングスが早朝の空港に待っていて下さいました。美しい街 Amherst では、市長にお会いしました。その後マリタイムの区理事の Wayne Jarvis のご案内をうけました。アムハースト・ワイズの例会に出席し素敵な夜を過ごしました。

オーストラリアに向かいアデレードでの国際議会に出  
**国境なき奉仕**

席しました。議事をすべて終わりました。議事の終わりに力の均衡と影響力のバランスが話し合われましたが、ほぼ全員の満足する結果だったと思います。ワイズダムのイメージに取り組む課題委員会ができました。地域社会にまたマスコミに取り上げられる方法を考えなければと思っています。議会は全員が自分のことと思う推進計画を確認しました。3年間の ISD が指名されました。6地域に関わり組織の隅々まで届くことが大切です。

私のアデレード滞在は南太平洋地域で終わりました。常にワイズメンとの出会いは展望と交わりが溢れています。グループ討議で出されたユースとワイズメンのいい考えが書きとめられていることを強く願っています。常に生き生きとした運動体なのです。

示そうワイズ！伸ばそうワイズ！

### YMCA との絆を大切に

YMCA リエゾン国際事業主任  
ラシェル・リーク(USA)

ワイズメンズクラブ国際協会の目的の一つは、YMCA を助け、活動を広めることにあります。それには、庭の手入れをしたり、家族をみたりするように、たゆまないケアが必要です。

YMCA とその活動に合わせて、その関係を維持して行くことが大事です。会長は YMCA の執行主事やプログラムスタッフと定期的に会う必要があります。そうすれば、クラブ会員が財政的あるいは実際の労力提供においてもっと重要な役割を担うことになるかもしれません。その反対に、YMCA の方からクラブ会員への支援が可能になるかもしれません。

第1に考えられることは、まず YMCA と共同事業を行うことです。これはクラブにとっては全く新しい試みかもしれませんが、既存事業の延長かもしれません。地域によって、ホームレスの若者や家族とか、健康や教育問題をかかえた地域、読み書きが出来ない大人など、それぞれの問題を抱えています。それらの事業を進めて行くことにより、ワイズ、YMCA の両運動が強化されます。地域の人達は、YMCA の存在について理解を示し、やがてワイズのメンバーになりたいという人達も出てくるかもしれません。

もし、地域に YMCA がなければ、目を近隣から外に向けてみて下さい。そこには、新たなプロジェクトを展開する場所があるかもしれません。

BF 代表があなたのクラブを訪れた時に、その地域活

## エクステンション・地域ニュース

動について聞いてみて下さい。何かアイデアが生まれてくる かもしれません。

あなたのクラブが出来ることは何なのか？本を集めて世界の恵まれない地域の人達に贈ることができるか？ブラザー・クラブの活動の一つの手助けが出来ないか？この種の活動は、両方のワイズメンズクラブとその YMCA と の杵をより強くします。

ワイズのメンバーとして、私達はタイム・オブ・ファストを通しての YMCA との関係を誇りに思っています。しかし、クラブとクラブ、人と人との関係を経験すれば互いの親密さは一層増します。今期、クラブ、部、区でどのような YMCA との共同プロジェクトをはじめるか決めて下さい。この YMCA との杵を作り出し、育てることが大切だということ、みなさんで示しましょう。

### 中国YMCAと協力

中国本土に YMCA が設立されましたが、まだワイズの活動は認められていませんでした。しかし、ホンコンのワイズと中国 YMCA 同盟との間で協力関係が継続しています。

ノース・ウエスト・ホンコン・ワイズメンズクラブと西安 YMCA の活動がその例です。

2000年にノース・ウエスト・ホンコンクラブは、西安と広西に5つの小学校を建てて“教育向上事業”を始めました。西安 YMCA との密接な共同がはじまって以来、過去10年間で300人以上の恵まれない生徒達に援助の手が差し伸べられました。2007年5月には、ノース・ウエストから4名の代表が西安を訪れ、50人分の生徒の学費分 25,000 香港ドル(3,200 米ドル)が西安 YMCA に贈られました。2008年にもこの金額が渡されることが約束されました。

- 以上、中国 YMCA 同盟機関紙 “Ys Update” からの抜粋およびノースウエスト・ホンコンクラブ、リー・シン・バクワイズメンからの情報による

### ワイズメンズクラブって何？

- アジア地域大会における藤井寛敏地域会長のスピーチからの抜粋

それは、クラブ・ライフ。フレンドシップ。連帯。ワイズメンズクラブは「国際的」。みんなで楽しむもの。若さを保つところ。それは、美しく、素晴らしいものです。「地方に立ちながら、世界を地球という視点から眺め」、

同時に、「広い世界を見て、地域の為に行動する」ところです。

ワイズメンズクラブは、人類すべてのためによりよい世界を築く運動です。

#### YMCA - 私達のパートナー -

YMCA と連絡を保ちましょう。各国 YMCA の特別行事や特徴については、世界同盟のウェブ：[www.ymca.org](http://www.ymca.org) にアクセスしましょう。新しいクラブ設立への契機になるかもしれません。

YMCA の世界中での活動に目を向けましょう。

YMCA 世界同盟の最新の機関紙 “YMCA World” をオン・ラインで読みましょう。

### コソボにワイズが誕生

エクステンション国際事業主任

Klaus Dietzel

コソボ紛争が終結して4年。2005年にワイズを創ろうという動きが起こりました。そして、今年4月21日にコソボ・ワイズのチャーターにこぎつけました。当日はヨーロッパ各地のワイズメン、YMCA 関係者が集まり、新しいクラブの設立を祝いました。

設立の目的は、紛争で割かれたこの地に YMCA の奉仕を通して平和をもたらすことでした。当然、ワイズ憲法には次のような言葉が盛り込まれました。バルカン地域の子供家族、地域社会にスポーツ文化、社会活動を通して和解と平和を実現すること。コソボ、セルビア、マケドニア、ボスニア、モンテネグロ、クロアチアの各地に若い人々の間での交流を通して継続したリグーシップトレーニングを行うことに重心をおくこと。そして、バルカン地域に民族間の緊張を減らし、和解と寛容の精神を促すこと、などが言われています。



このワイズの会員は、アルバニア人、セルビア人、さらに、コソボを支援するために来ている外国人、などで構成されています。もちろん、コソボには、いまだ戦争の傷跡は残っています。しかし、プリスチナ・ユース・センターのような新しい施設が完成しました。これはこの国に平和と繁栄を実現させようという強い意志の表れでもあります。

ワイズ設立の目的は、コソボ YMCA と各地のプラントに よき指導者を教育、輩出することです。キリストの教えに基ずいて、「平和」の指導者の育成の基礎を創ることです。世界の NGO の皆さんからの支援を期待しています。

## ワイズのよきPR活動

### - 大阪河内ワイズ

西日本区大阪河内クラブ 伊藤圭介ワイズマン

2004 / 05 版のワイズメンズワールドで大阪河内ワイズの子椅子での山登りの記事を紹介しました。この行事も今年で 11 年目に入ります。今年は 19 台の子椅子が、生駒山（標高 650m）に再度挑戦しました。

この行事には、今年も大阪リッツ・カールトン・ホテルのスタッフの方々や多くの人たちの支援をえました。この事業は、ワイズ、ワイズのコメット、メネット、YMCA のリーダー、地元の小中学生、会社、ボランティアを巻き込んだ広がりを見せ、今や一大地域活動になっています。もはや単なる地域の YMCA , ワイズ活動の領域を超えています。私たちのワイズは、本来、大阪 YMCA が運営する高齢者施設“サンホーム”の支援を目的にしましたが、その施設の居住者だけでなく、地域の子椅子のお年寄りや障害者も支援の対象に広げて来ました。

この計画の実現には、たくさんの苦勞がありました。どうやって安全に山の頂上まで子椅子のお年寄りをお連れするか？雨天の場合どうするか？山の麓まで子椅子を運ぶのに何台の自動車が必要か？一台の子椅子に何人の助け人が必要か？当日のお弁当、車の手配、保険、この企画のための宣伝費用、などはすべて、大阪河内ワイズの負担でした。これは、私たち河内ワイズの 10 年間にわたる地道な働きの結果であり、それは“よき PR となって結実”しました。

私たちのこの行事のねらいは：

1. 行動が極度に制約されている老人や障害者の方々に対する軽登山の機会提供。
2. 地元の人びとに、YMCA が行っている社会への奉仕活動を理解してもらうことやそれを支えるワイズの活動の広報。
3. 地域の地域社会の人びとと一緒に山登りをする事で、地域の人びとも情報交換を行い、働きを共有

**国境なき奉仕**

し、ボランティアリズムを啓蒙すること。などがあげられます。

私たちは、このようにして地域との連携をめざしています。

この行事はその現れの一つです。この行事は、CS 活動、そしてワイズの PR 活動により事例となることを願っています。今年は、150 名の人びとが係りました。参加した多くの人びとが言っています。「この行事は単にお年寄りのためでなく、私たち全員のためである」。この活動は、私たち日常生活でのストレスからの開放であり、リフレッシュをもたらしてくれます。来年の行事が待ちどおしい、とみんなが言っています。

### 感謝

大阪河内ワイズメンズクラブに表紙の写真（同クラブ丸尾欣メン掘影）の提供について感謝申し上げます。

素晴らしい写真とストーリーをお送り下さい。あなたのクラブが次号の表紙を飾るかもしれません

## 日本での冒険

パトリック・サイモン、ドイツ

私は、ドイツの町ミュールハイム在住のパトリック・サイモン二十歳です。STEP に参加し日本で五週間生活しました。その間七つのご家庭でホームステイをしながら日本各地を訪れました。お会いした日本のワイズメンとメネットの皆さんはとても親切で私の日本訪問が楽しく興味深く、快適になるよういろいろと心を砕いて下さいました。



六月上旬の大阪到着から出国当日まで予定が組まれていない日は殆どありませんでした。

多くの神社仏閣や（ヨーロッパの城とは全く異なる）印象的な日本のお城を訪れました。ダイビングをしたり有名な温泉にも入りました。忍者村では侍の鎧を身に着けました。大雨が降った日には、富士登山に挑戦しました。ホストファミリーの方々は、色々な日本料理を熱心に勧めて下さいました。私がお刺身を食べることを嫌がらなかったのが、皆さんが喜んでくれました。帰国後にナイフとフォークを使って食事をするのに慣れるのに少し時間がかかりました。

## STEP ニュース



日本の方々と母国ドイツや私の家族、ドイツのワイズメンズクラブなど様々の話題について語り合いました。ドイツの車、ビール、ソーセージは日本で好評を得ているようでした。ホストファミリーと過ごした以外にも幾つかの公式行事に参加しました。

到着当日の夕方に大阪にあるワイズメンズクラブの例会に出席しただけでなく、80クラブから約800人もの関係者が参加した西日本区大会にも出席しました。熱海では、熱海市長（ワイズ）にもお目にかかったことが地元の新聞で報道されました。日本で過ごした時間は、私にとって素晴らしい経験となりました。STEPとこの冒険を実現させてくださいました全ての日本の新しい友人の皆様心から感謝を申し上げます。

### デンマークでの冒険

デンマークトレホイクラブ会長、ジョン M ベンダーセン

1996 / 97 年デンマークのトレホエワイズメンズクラブは、日本の姫路グローバルクラブの YEEP 学生、橋崎頼子さんを受け入れました。奇遇にも 10 年の時を経た今年二月にトレホエクラブは、頼さんの弟、牧人君を受け入れることになりました。山国である日本から 18 時間かけて見渡す限り平地が広がるデンマークにやって来た牧人君を待ち受けていたのは、驚きの連続でした。一番興味深かったのは、デンマーク語、英語、理科、体育の授業を受けた学校訪問でした。FC ミドテイルランドの監督に会ったり、地元の工場見学をしたこともとても



興味深かったと感想を述べています。又、両国の一番の

違いは福祉であり、労働時間は、日本の方が遥かに長い一方、所得税はデンマークの方が遥かに高いと述べています。デンマークの食べ物の美味しさに驚かされた牧人君は、ジャガイモとソースをかけたカツレツは最高！お米とジャガイモという主食の違いなど両国の食べ物の違いは面白いと述べています 1 帰国後は、東京で社会人として新生活を始めることを楽しみにしているそうです。

### あるワイズマンの人生哲学

1999 - 2000 ワイズインターン  
マリアン・ゴー

私は、YMCA やワイズメンという環境の中で生まれました。私の父、名誉ワイズマン：ゴー・スーン・ホックは何年間もチャイニーズ YMCA (後にシンガポール・メトロポリタン YMCA と改名しました) の役員、会長でした。父はまた、ベータ・チャプター・ワイズメンズクラブのとても活発なメンバーでした。部長、区理事、国際議員を歴任し、1983 - 84 年度のアジア会長でした。私は、ワイズリング (日本ではコメットと呼んでいる) として、部、区、国際の会議や大会等、ワイズメンの催しに父についていったのを覚えています。子供の頃、父から、精神、知性そして身体の均衡の取れた発達という YMCA の考え方を実行することが必要であり、望ましいという思いを吹き込まれました。父はその考え方を信じて、それを実行していたのです。何年にもわたって、父はゆるぎないクリスチャンであり、教会で来会者の案内役を受け持っていました。よく本を読み、博識であり、その上活発なスポーツマンでした。

ワイズマンであることは、父にとっては単なる社会的な楽しみをはるかに超えたものでした。ワイズを通して、父は、世界のあちこちへ旅行し、見てまわりました。沢山の国の沢山のワイズメンと友情を深めました。参加した多くのワイズメン活動を通して、はかり知れない価値を持つ指導力やコミュニケーション力を身に付けました。最も重要だったのは、自分より恵まれない人々に手を差し伸べることにより、自分に賜った多くの能力をコミュニティのためにお返ししたことでした。

父はまた「人はその地平の広さによって測られる」というワイズメンの信念を大切にしていました。父にとって、ワイズマンであることは、単なる友情、友愛や社会的な働きではありませんでした。それは、ワイズマンを超えた、毎日の人生の中で信じ、実践した人生哲学そのものであったのです。

2005年に父は、すい臓がんと診断され、大きな手術を受けました。驚いたことにそれでも父の神様への信仰は衰えず、ワイズへの情熱もさめませんでした。ワイズの国際、地域における活動への関心は変わりませんでした。しかし、癌は再び襲ってきて、化学療法のために父は弱って行きました。病床に縛り付けられ、体はひどく衰弱して行きましたが、父の心は前向きで、神様と共に歩んでおりました。

2007年7月に父は召天しました。父の人生哲学の証しとは何だったのでしょうか。父の友人が沢山来てくださって、父がその人達の人生に大きなあるいはささやかな影響を与えていたことをお聞きし、私は改めて感動しました。父の地平は大きな広がりを持っていたのです。

ワイズマンとして、ワイズマンになって最もよいことは何でしょうか。私は、父がワイズマンになって、人生に影響を与えられ、それを喜んでいましたが、私自身もそのとおりだと痛感しています。そして、皆さんもまた、ワイズマンであることの喜びを人々と分かち合い、ワイズマンになることは単に社会的なことからではなく、人生のあり方そのものだというを示されるように祈っています。

ご存知ですか？

「ユース参画」のウェブ [www.ysmen.org](http://www.ysmen.org) で、  
未来に触れよう。

「ユース・ワールド」で、  
ワイズダムの若者の素晴らしいニュースを読もう。  
06年度ユース・コンヴェンションで、  
ユースが何を体験したかを知ろう。

## 国際議会 07 - オーストラリア、アデレード

国際書記長 Roland Dalmas

国際議会のもっとも感動する瞬間：a) 直前国際会長 Choi Han - ki 司式による新しい国際議員の就任式。b) 直前国際会長 Choi Han - ki が国際会長としての重責のシンボルである聖書とギヤベルを新国際会長 Lasse Bergestedt に渡し、また国際会長 Lasse Bergestedt が国際会長として選挙で選ばれたことの感謝をのべた時。c) 国際会長 Lasse Bergestedt が国際議員を代表して直前国際会長 Choi Han - ki に、2006年/2007年度の国際会長としての貢献、特に彼の3万人メンバー増強達成を称え、盾を贈った時。

今年は特に、YMCA 世界同盟からリエゾンとして世界 YMCA 同盟副会長の Samuel Stephens 牧師が国際議会

に参加してくれました。国際議会の冒頭で、サムエル牧師から感動的なスピーチをしていただきました。それは二つの運動体の共通課題、つまりコミュニティーへの奉仕についてであり、二つの運動体のパートナーシップの一層の強化と、良き人間性のために我々が直面している問題に共に働くことでした。国際会長 Lasse Bergestedt はサムエル氏の力強いメッセージに感謝し、ワイズメン国際も YMCA と共に力を合わせ走る用意があることを表明しました。

Carol Reynolds ワイズメネット国際主任の認証式が、直前国際メネット主任 Shriley Unmack より、感動的に行われました。Unmack 国際メネット主任はこのポジションの存在の重要性を語り、新しく就任した Reynolds 主任の今までの豊かな経験とメネットとしてのかかわりを賞賛しました。

国際会長 Lasse Bergestedt は、世界中のメネットのワイズに対する献身的な支援に感謝し、国際メネット主任のワイズ国際議会への陪席の意義を述べました。

国際議会はワイズの将来に関して次のようなことを決議しました： 国連の協議資格 (UN Consultative Status) に関して。ワイズメンズ国際は草の根で国連に対して協力する団体となることを共通認識としました。ワイズメンは国連のいくつかの問題を支援することができる。例えば：a) ある特定の国で、子ども、若者を死に追いやっているマラリア予防 (TOF プロジェクトとして可能では)。b) コミュニティーにきれいな水を供給する。c) 国連における議題と委員会報告を RDE トレーニングの際に分かち合い、その後、RD がそれぞれのクラブに情報を降ろす。d) クラブで特別な日を覚える機会をつくる。例えば「女性の日」など。

パワーバランス委員会の報告とそれに引き続き行われた議論は、国際議会での最も重要な議題でした。いくつかの動議が承認されました。そのうちの一つ、国際憲法の改定が簡単に行われるリスクを最小限にするために以下のように承認されました。国際憲法改定の通達は、次に開催される国際議会の少なくとも 90 日以上前までに国際書記に書面で提出すること。その際、改定希望の文言とその目的も文章で提出すること。国際憲法改定の動議に対するセコンドは、提案地域以外の国際議員によるものでなければならないこと。

特別会費決定の手順。特別会費はインベストابل・ウェイト・ファクター (IWF) に基づく生活費を基準とする (IWF データーを基準とする購買力で国が分類される)。これは 2008 年 / 2009 年 9 月 1 日から効力を発し、

## 国際議会・ワイズメネット

2007年より3年に一度の周期で見直しをする。

14のTOFプロジェクトが420,453スイスフラン(約41,238,000円)の予算で承認された(この内、2つは継続)。これはTOFプロジェクトが始まって以来、最高額(年間)予算である。また国際議会は、もう一つ、TOF委員会から推薦のあるプロジェクトの承認を08年のミッドイアミーティングに一任した。これはカナダから提出される3年間のTOFプロジェクトで合計予算総額は36,480スイスフランとなる。

ユース関与はすべてのエリアにとって重要な問題であり昨年はユースクラブが各地のエリアで準備が始まり、すでにいくつか地域ではY's Youth Clubがスタートしています。

国際議会では、2つのタスクフォースが立ち上がり、異なるユースプログラムの検討を始めています。

国際議会ではワイズメンのイメージを広めるための提案を議論しました。プロの広告代理店と契約する価値とコスト/利益に関して検討しました。そしてワイズのイメージを検証する広告代理店の選択と契約を目的としたタスクフォースが立ち上がりました。この検証はワイズメンズ国際だけでなく、ワイズメネットやワイズユースも広報対象とします。

国際会長ラッセは、国際議会の最後に次のような言葉を述べました。「我々は皆違いを持っています。だから議論するのは良いことです。議論することは良いことで、それにより学びまたワイズに(賢く)なれるのです。真のY'smenでありWISE MEN(賢者)になれるのです。友好と愛をもってそれぞれ別れを告げるとき、多様性というものは消えるのです『国境なき奉仕』そして『示そうワイズ、伸ばそうワイズ』の実現をめざしましょう。」

### 共に強く成長



国際ワイズメネット主任  
Carol Reynolds

マーチンルーサーキングの言葉に「何ごとも希望をもてば実現できる - -とあります。これは私の国際主任としての2年間に渡るメッセージです。ワイズメン国際協会とよりつよいつながりをもちつつワイズメネットとしての自覚を高めていきます。私達はYMCAや地域社会に対して大きな貢献をし、またワイズの国際プロジェクトを支援しています。

今こそ、私たちがこういった活動をしていることを明確

にしましょう。

コミュニケーション、コミュニケーション、何度このことを耳にしなければならぬのでしょうか。それが十分に行われるようになるまでは耳にしなければなりません。それは団体の働きには不可欠でその成功にはすべての人が関わらねばなりません。団体の一員としてすすんで責任を果たすのです。繋がっている鎖を見てください。それは、ワイズメネットとワイズメンの強固な繋がりを示し、もしコミュニケーションの欠如からその繋がりがこわれると私達の目標は達成できないでしょう。

私達は人々に友好と支援の機会を提供しています。それは自分たちの地域だけでなく世界へと広がります。何故ならば、貴方がワイズメネットであることで、何処かで行われる支援は、私達の属する団体を通して世界に広がるからです。この組織の成長を願うなら将来に向かって私達自身をたかめていかなければなりません。私達は色々な文化をもち、常に変化している社会に生きているので、たくさんのかたの事をうけいれ、学んでいくことが大切です。

ワイズメンズクラブと共に大きくなり、役割を担い、責任を果たすにはワイズメネットの指導者を育てなければなりません。指導力の開発は運動を成功させる鍵です。

エクステンションは拡大また前進を意味します。皆さんは新しいメンバーを獲得する努力をしておられますが、そのことによって、結果として地域社会、YMCA またワイズメンズクラブを支える能力が増大するのです。



アデレードにて、国際主任キャロルレイノルズと4人の前任者(左から右へ: シャリー・アンマック、キャロル・レイノルズ、ペリル・ジョーンズ、パム・クラモンド、ジェニファー・キャメロン

国境なき奉仕



## 愛とは何？

キリスト教強調事業主任 Peter Gilbert

2005年に私はBF代表としてパナマ、バルバドスとブラジルを訪問し、ワイズの活動に参加してブラジルでのTOF支援プロジェクトを見る機会を得ました。その旅ではかけがいのない友を得ることができました。今、バルバドスでワイズメンの家にホームステイしながらこれを書いています。この後は、ブラジルに戻りTOFプロジェクトのPorto Alegreでボランティアとして働きます。ワイズのユニークなところは、世界中のワイズと友好関係を持つことです。

このことはワイズで大切に育て続けたいものです。私はワシントンDCで多くの戦争記念碑を見ました。アメリカのアーリントン墓地では戦争で命をささげた多くの兵士を思い起こさせてくれます。生きている人のために犠牲になった人たちの命は忘れられてはいけません。

200年も前に奴隷貿易は廃止されました。1千万人ものが母国を離れて、海を越えて外国に運ばれ労働を強いられました。奴隷を受け入れた国では人権を無視していましたが、今彼らは謝罪をしています。1人の奴隷船の船長は、この非人間的な扱に疑問を感じクリスチャンになりました。

アメージンググレースという素晴らしい歌には彼がいかに生き方を変えたかが語られています。人間には質の良い人生を送る権利があり、誰もその権利を侵すことをしてはいけません。現代の世界で何百万人という人が苦しんでいます。

その苦しみを癒すのは我々一人ひとりにかかっています。毎日どれほどの人が助けを必要としているか考えてください。

自分が自由であることを当たり前と思わないでください。ワイズメンの仲間とその友好を深めてください。

“AY's Man's Vademecum「ワイズ便覧」にロバート・リーデル氏は『愛とは他人を批判することなく、また条件をつけることなく、自分と同じように受け入れることである』と書きました。

愛とは、お互いに生かすことでだけではなく、相手の重荷を共に背負うことであり、兄弟としての手を差し伸べ、物質的、思想的、身体的、そして心理的な先入観なしに愛することです。愛は自己中心であってはなりません。単に親切な言葉、助けの手、食事へのご招待、または自分にとってとても大切なものを犠牲にすることもできません。

キリストにあって、東も西もない。

南も北も無い。

ただ、愛の絆が

この広い地球すべてにある。[賛美歌]

**国境なき奉仕**

## 感銘的な統計

06/07年度 TOF 実行委員長

インド・トリヴァンドラム Josey Joseph

トウリヴァンドラム・ノ

ースワイズメンズクラブ

は、TOF 基金をインド・

ケララ州沿岸地域の HIV,

AIDS 教育プログラムの為

に提供してきました。この

プロジェクトは州沿岸地

域にあるワイズメンズク

ラブと全国視覚障害者協



会ケララ支部の協力によって実施されています。

以下がこのプログラムの上半期の成果の要約です。

### 地域指導者を対象とした集中トレーニング

ワイズメンズクラブと地元の機関の支援のもと 62 の意識向上プログラムが 2007 年 3 月までケララ州の 4 区（トウリヴァンドラム、コラム、アレッペイ、アナクラム）で実施されました。我々のメッセージは、このプログラムの 6,500 人の参加者からケララ州 4 区の住む少なくとも 25,000 ~ 30,000 人に伝えられると確信しています。

### 800 人のユースリーダーが伝える手段を身に着ける

この意識向上プログラムの最大の成果は、ケララ州各地域を代表する南インド教会の 800 人のユースリーダー向けに企画された教育プログラムでした。このグループの若者は、我々の運動のメッセージをそれぞれ所属する組織に持ち帰り、ケララ州の少なくとも 800,000 人に伝えたと確信しています。

### 広報

エイズ予防スローガンを書き込んだ 50,000 部の魅力的な 2007 年度用多色刷りカレンダーを印刷し配布。

我々はこの重要なプログラムがワイズの UGP に多大な貢献をしていると確信しています。

## 愛は全てを乗り越える

ヴェトナム YMCA にワイズの ICM が決定した TOF から \$ 30,500 が贈られました。この拠出金は HIV / AIDS に罹りながら生活している人びとの支援に使われます。以下はこの事業によって支えられた家族のお話です。

その人の名前を TB さんとしましょう。彼女はヴェトナム YMCA が運営する相談室にやってきました。場所

## 世界統一プロジェクト・台風災害復旧支援

はホーチンミン市の近くで、多くの貧しい人びとが住んでいます。そこでTBさんはベトナム YMCA のカウンセラーやボランティアに会いました。ファン博士とベトナム Y の中心メンバーの支えにより、彼女は胸の腫瘍の手術を受けました。このような Y のカウンセラーや、ボランティアからの支えは彼女に大きな喜びと希望を与え、新しい生活を始める自信を彼女にあたえました。

TBさんは通信教育で大学を卒業して、ホーチンミン市の不動産会社に就職、安定した収入をえることが出来るようになりました。彼女の家族と友達は彼女を誇りに思うようになり、TBは仕事をさらに増やし、Dさんという4歳年上の男性と知り合い結婚しました。しかし、Dは以前結婚の経験あり、TBさんが AIDS に感染してからDさんの過去をしりました。二人には子供が生まれましたが、両親の結婚許可を得ていませんでした。

TBさんとDさんの両親は、二人の若い夫婦との一緒に生活を望みませんでした。TBの両親はDがエイズをTBと孫に感染させたとして、よい感情をもたず、また、Dの両親もTBさんを自分達の義理の娘として受入れを拒みました。その結果、TBさんは大変不幸となり、悲しみました。

ベトナム YMCA のカウンセラーと何回も相談の結果、TBさんは以前の不動産会社に復帰しました。彼女の強い意思と努力、さらにベトナム YMCA のカウンセラーの支援により困難を乗り越えました。若い夫婦二人は、自分たちの両親の関係改善に努めた結果、和解し、正式な結婚と生まれた子供の誕生の登録手続きをしました。Yのカウンセラーが、若い夫婦をしばしば訪問したことにより若い夫婦は困難を乗り越えました。

- 上記は、ベトナム YMCA カウンセラーがTBさんの証言に基づき作成された記述による。

### タイムオブハウス 500

元国際会長 ジョン・チョア

超大型台風ドリアンが2006年11月にフィリピンを直撃し2000世帯の人々が家を失いました。不幸別況はアジア地域の会員の心を揺さぶり AP Lee Joo - min の指揮のもとで影響を受けた区に8軒のコンクリートの家を建てるための基金をつくりました。PIP John Choa はフィリピンでこのプロジェクトの調整役をつとめ、無償の建築とプロジェクトの管理をしました。レガスピ市の市長はこれに取り組み、直ちに無償で土地を提供し、レガスピ市に再定住地域を設けました。建設の動きは早く、簡単な住居が2007年6月には完成しました。個々の家についてのワイズの口ゴが目をひき、訪れる人々に私達の取り組みを気付かせています。

社会福祉局は極貧層を50に特定し、抽選で先ず幸運

な8家族を選びました。2007年7月4日に市長による引渡しの式が行われました。報道機関も出席して、地域全体が知ることになり、レガスピ市でのワイズの名前と活動へのイメージが高まりました。式典には IPRD Yang Hyun - Kook、RD Chung Woo - Young、また韓国中央区の Lee Sang - Myung ワイズたちが出席しました。彼らは非常に心うたれ新たに3軒の家のために献金をささげました。

タイム・オブ・ハウス 500 のプロジェクトは韓国中央区にひろがり基金が集められています。より良い世界を築くためというワイズメンの活動の一つは2007年4月のワイズメネット・クワイヤによる祭典となりました。

1年前の11月に恐ろしい力をもったドリアン台風がフィリピンを直撃してワイズメンの心は悲しみにうちひしがれました。苦しむ人々をたすけようという声は今年初めのアジア地域年央会議で様々な所から起こり、タイム・オブ・ハウス 500 (略称 TH500) という新しい運動になって世界にお目見えしました。TH500 キャンペーンは、ドリアン台風の犠牲者に最低限の家を提供しようとするもので、一家族当り500米ドルは、殆ど建築資材購入の費用に充当されます。募金活動に向けては TOF 精神が集中されます。この精神は他の奉仕団体に伝わり韓国中央区が中心となって資金集めに向けて歌の祭典を計画しました。およそ900人の聴衆がコンサートの開かれたヨンセイ大学の講堂をうめ、熱烈な拍手を贈りました。ソプラノ歌手、イー・ハンナ・キムはニューヨークカーネギーホールでも出演したオペラのプリマです。外国からのポップシンガー、ウガンダの Eddie またフィリピンの Chaiisa が賛助出演して更に意義深くなりました。献金はすべて TH500 に捧げられました。

祭典の主催者と韓国ワイズメネットの代表は「このような催しは意義深く、ワイズメンと共に取組むときすべてが一つの傘のもとに結集します。私達はこのようなことを被害を受けた人が地上からなくなるまでやめないうしょう」



(写真：ワイズが建てた一軒の家を訪問中の PIP John Choa)

## クラブと地域のコミュニティー

コミュニティーサービス事業主任  
ニーズはそこに

あなたのクラブは恵まれた市街地や町にあるから、「コミュニティーサービス」は必要とされないと思っていますか。

そうではありません。たとえ豊かな地域であろうと、何か助けを必要としている人達がいるはず筈です。そしてあなたのクラブも何か出来る筈です。何故ならワイズの友情の心を合わせれば何かを成し遂げることができるからです。

あなたのクラブでは TOF や BF それに YMCA にお金を寄付をしているから奉仕は済んだと思っていませんか。もちろん、それも結構。でもあなたの近くで、助けを必要としている人がいませんか。お金ではなく、助けの手を必要とする声、正義を求める声、食料配給、革新、そして世界の平和への叫びが聞こえてきませんか。

より良い世界

コミュニティーサービスはワイズ活動の基盤です。この活発な活動を通してリーダーシップを開発し、奨励し、人類の平和のために人を輩出してゆくことになるのです。我々が世界を変えることは出来ないとしても、世界にある 1700 ものワイズメンズクラブは、確かに何かインパクトを地域に与えるでしょう。

コミュニティーサービスをすると、副産物として、クラブ内の友好の輪を深めることができ、地域にワイズの名前を知ってもらえることにより、ワイズの知名度を上げることができます。

### コミュニティーサービスのアイデア

どのコミュニティーにも、市民の生活を良くするために一生懸命努力している人がいます。でもその献身的な業はあまり知られていません。たとえば看護師さん、学校の先生、ソーシャルワーカー、郵便屋さんなどです。あなたのクラブが、その人たちの年間表彰を設定し、クラブ主催、あるいは市を巻き込んで、個人や団体を表彰することはできませんか。それによって奉仕の精神を広めることができ、また良いお手本を社会に示すことができます。

もしあなたのクラブでコミュニティーサービスの名案があれば、是非、その写真や意見をワイズメンズワールドに寄稿してください。

## 2006/07 を振り返って

2006/07 年度国際会長  
チェ・ハン・キー



まず、IPE、IP の期間を通して神様が与えてくださった知恵とお導きに感謝します。まさに、光陰矢のごとしです。2006 年 8 月 3 日韓国の釜山での国際会議で 06 / 07 年度国際会長に就任したのは、ほんの数日前のこのように思えます。

次期国際会長に就任した時、私はワイズメン・インターナショナルが平和に満ち、楽しく、有意義なものであり、会員も 3 万人に達することを期待しておりました。今後 10 年間のワイズメンズクラブ国際協会の姿を夢見ました。この夢のために私は主題やビジョンや標語を決めました。ワイズダムは、もっと会員を増やさねばなりません。3 万人を超える会員 - それは、我々により良い世界を築くことを可能にする魔術です。我々は、将来世界の三大サービスクラブになるための礎石を今据えなければなりません。我々は、全ての会議に、国際的なプログラムやプロジェクトに積極的に参加しなければなりません。

そして、2007 年 6 月末までに、ワイズメンズクラブ国際協会の歴史的なマイルストーンである 3 万人を超える会員を実現したことに私は誇りを感じています。私達は歴史を作りました。私達は大きなことをやり遂げました。今後私達の会員は、顕著な伸びを示すでしょう、いや幾何学的に伸びると私は明るい希望を持っています。この 1 年間、ワイズメン一人一人のご協力によってこの目標が達成できたのは大きな幸せでした。すべてのワイズメンの皆様、地域会長に、国際議員に、国際事業主任に、そして国際本部のスタッフの皆さんに深甚なる感謝を表します。

今年度、ワイズダムにおける最高の栄誉、ハリー・M・バレンタイン賞を韓国、太田クラブのアン・ヒョン・ジン博士に贈りました。博士は、1962 年ワイズダムに入られ、地域会長を含む主要な役職すべてを歴任されました。医師として、博士は地域社会に無料治療の奉仕をされ、ワイズダムのイメージ高揚に多大の貢献をされました。ワイズメンズクラブ国際協会に村するその熱意、奉仕、献身および貢献を考える時、博士にとってハリー・M・

## 2006/07 年を振り返って

バレンタイン賞はまさに相応しいものと言えましょう。

顕著な働きをされた区理事に村する国際会長賞は、中央南ヨーロッパ区のエルフィー・ムジル区理事、西インド区の T.M. ジョーズ区理事、ブラジル区のシオニデス区理事、韓国南区のムーン・サンーボン区理事に贈られました。

私は、次期国際会長、国際会長在任中、次期理事研修、地域大会、区大会、委員会、国際議会、年央議会のために訪問したアフリカ、アジア、カナダ、ヨーロッパ、インド、ラテン・アメリカ・カリブ海、南太平洋、USA の諸地域のワイズメンから寄せられた親切且つ友情に満ちたおもてなしに深い感銘を受けました。特に、インドとブラジルを訪問した時、YMCA を通して実現されている TOF のプロジェクトに誇りを感じました。TOF こそは、YMCA と共に行う国際奉仕の真の姿です。

私の前任の、愉快で、謙虚でそして冷静なベンソン・ワブレ前国際会長から頂いたご協力に村しても、深く感謝を致します。また、心の広い、謙虚で、精力的かつ知識に富んだラッセ・ベルグステソト国際会長という優れた後継者がおられることは私の喜びです。

国際ワイズメンは、10 年以内に会員 5 万人、国際事業総額 5 百万米ドルに達することは確実だと思っております。

正直にいうと、妻は私が国際会長になることを好みませんでした。会議に出る為に会議力がしょっちゅうあり、体調を崩しました。イーメールの授受や会議の準備に次期国際会長、国際会長の二年間夜遅くまで寝られませんでした。

しかし、今では、妻の協力のおかげでこのような大役に支障が起こらなかつたことに感謝しています。やっと、この大役を卒業することができました。私は今は何の束縛もありません。妻と共に早く寝て、観光旅行に行つて、ゆっくり出来ます。

ワイズメンズクラブ国際協会が大きく伸び、永久に存続することをこころから望んでいます。私達は、ワイズメンズクラブ国際協会という名を持った一つの家族です。世界中のどこでも、いつでも、お会いして楽しみましょう。

有難うございました。



(写真：ラッセ国際会長からチェ・ハン・キー前国際会長へ在任期間の記念品を贈呈中)

ご存知ですか？

TOF チームは、醸金を奨励する為に、12 ページから「スーパー・TOF・カレンダー」

をつくりました。

中国語、デンマーク語、英語（\$ および £ で表示）、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語、ポーランド語、ポルトガル語およびおスペイン語版があります。

[www.ysmen.org](http://www.ysmen.org) にアクセス、ダウンロードして、あなたのクラブの会員の皆さんに配って下さい。

## 空前絶後(？)

前地域会長・次期国際会長 V.S. バシール  
2006 / 07 年インドエリアに 100 の新クラブが誕生。  
その秘訣は...？

1. 個性ある活動
2. 民主主義の価値の標榜
3. 徹底した透明性
4. 活動に信念と楽しさ
5. グラスルート・レベルへの信頼と希望
6. 地域会長・区理事の訪問による激励、刺激
7. 運動の革新への決意

ワイズメンズワールド

2007/08 年度 第 1 号 日本語版

発行者：ワイズメンズクラブ国際協会

東日本区理事 越智京子

西日本区理事 神谷尚孝

作成責任者 山川一郎

印刷 (株)三浦印刷所

から

OCR 読み取り再編集 by 東日本区十河